

## 女性内視鏡外科

### 1. 概要

産婦人科における手術治療のうち、主に腹腔鏡下手術やロボット支援下手術に関わる診療を担当している。従来の開腹術と比べ、早期退院、社会復帰が可能であり患者にとって負担が少ない手術法である。2020年度には、約440件の腹腔鏡下手術を行い、ロボット支援下手術は162件施行した。良性疾患だけでなく、悪性腫瘍疾患に対しても積極的に本術式を導入し、子宮体癌や子宮頸癌に対する低侵襲手術を行った。

2020年度には、骨盤臓器脱に対してロボット支援下仙骨腔固定術が保険適応となり、当院でも導入を開始した。通常の腹腔鏡下手術と比較して、より精密に手術が可能となった。

当院は、日本で4か所目のロボット支援下手術認定証発行施設でもあり、全国から多くの医師が手術見学のため来院する。また、東三河唯一の産婦人科内視鏡技術認定医研修施設であり、多くの若手医師が技術認定医を目指して日々修練している。技術認定医の資格を得るには数多くの腹腔鏡下手術の件数やビデオ審査があるが、直近3年間で当院から5人の合格者を輩出している。

現在、腹腔鏡下手術やロボット支援下手術の指導者として全国多岐にわたり、講演や手術技術指導を行っており、今後もさらなる低侵襲化手術の普及に努める。

(部長 梅村 康太)